



かかみがはら

市議会だより

発行
各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69
電話058-383-2001

編集
市議会だより編集委員会



市民公園で爽やかにラジオ体操をする市民（8月9日・夏期巡回ラジオ体操）

9月定例会

平成24年度一般会計決算を認定	2
委員会審査	4
審議結果	6
委員会調査報告	7

市政を問う 一般質問

平成24年度の決算	8
老朽化が進む市庁舎	9
ジェネリック医薬品希望シール	10
ご当地商品をPR	11
市民の声、議会素描	12

平成24年度一般会計決算

総額465億1904万円を認定

各務原大橋、高機能消防指令センターなど

平成25年第3回定例会（9月定例会）を8月30日から9月27日までの29日間の会期で開催しました。

市長から提出された議案は、平成24年度一般会計決算をはじめとする25案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり認定・可決・同意しました

平成24年度 一般会計決算

決算額は、歳入465億1904万8426円、歳出435億1548万4537円となりました。



完成した各務原大橋（上中屋町）

平成24年度は、欧州での債務危機など経済の先行きが極めて不透明な国際状況で始まりました。

夏にはさくらジャパンがロンドンオリンピック出場、秋にはぎふ清流国体・ぎふ清流大会の開催、年度末には、12月の衆議院議員総選挙で政権交代した自公政権のアベノミクスへの期待感から株価が一気に上昇するなど、さまざまなことがあった変化の目まぐるしい年でした。

そのような中、本市は健全な財政を背景に、各政策課題に対して果敢に取り組み、着実に成果を挙げてきました。

特に、合併時からの念願であった各務原大橋の完成、そして消防防災体制をさらに強化するため、最新の情報通信技術を駆使した高機能消防指令センターを消防本部に整備しました。

また、犬山東町線バイパスや日野岩地大野線の道路整備に取り掛かるなど、各分野で幅広くバランスの取れた事業を積極的に展開しました。

税収などに占める借金の返済負担の割合を示す「実質公債費比率」も昨年度と同じく2.0%を維持するなど、引き続き財政の健全性を堅持しました。

平成24年度の 主な事業

●那加小網線道路整備事業（各務原大橋）

那加地区と川島地区を結ぶ幹線道路を整備するため木曽川に新しく橋を架け、取付道路の整備をしました。

●川島ライフデザインセンター施設整備事業

建物2階の川島中学校屋内運動場の耐震工事に合わせ、1階の川島ライフデザインセンターもリニューアル工事を実施しました。



改装した川島ライフデザインセンター

●小中学校校舎耐震補強事業

小中学校校舎耐震補強計画に基づき耐震補強工事を実施しました。



耐震補強された那加中学校校舎

●災害情報スピーカー屋外拡声子局新設事業

災害時の住民への情報伝達手段である屋外災害情報スピーカーの音が聞こえにくい地域を解消するため、新たに屋外災害情報スピーカーを設置しました。

●かみがはらシティマラソン2013実施事業

平成25年3月に完成した各務原大橋の開通イベントと併せて、ハーフマラソンを実施しました。

平成25年度 一般会計補正予算

当面の行政需要に対応するため、歳入歳出予算にそれぞれ8億457万3千円を追加するもので、補正後の予算総額は405億6977万円となりました。

歳入の主なもの

○国庫支出金

1964万8千円

○県支出金

1650万7千円

○繰越金

7億6841万8千円

歳出の主なもの

○川島振興事務所建替基金

本計画等策定事業

川島振興事務所や鵜沼



川島振興事務所（川島河田町）

市民サービスセンターの建て替えに備え、基本計画などの策定をするものです。598万5千円

○庁舎等整備基金積立金

公共施設100%耐震

化に備え、基金に積み立

てるものです。5億円

○小中学校施設整備事業

小中学校の冷暖房設備

整備を設計委託するほか、

中央小学校の階段用椅子

式昇降機の設置や、川島

中学校の特別支援学級の

増設に伴う教室改造工事

などを行うものです。

8596万5千円

○道路ストック点検事業

道路照明や舗装、横断

歩道橋などを長持ちさせ

るため、損傷状態の点検

を実施するものです。

1900万円

議員派遣

○欧州都市行政視察

全国市議会議長会主催

の海外都市行政調査団の

一員として、10月1日か

ら10日間、欧州の各都市

の特色ある施策や環境教

育と処理システム、地域

開発・都市計画などに関

する調査をするため、議

員を派遣するものです。

派遣議員

藤井國雄、仙石浅善

○市議会だよりの編集に 関する調査

大分市と福岡県福津市

に、11月14日から2日

間、市議会だよりの編集

に関する調査をするため、

議員を派遣するものです。

派遣議員

池戸一成、瀬川利生、

五十川玲子、津田忠孝、

水野盛俊、坂澤博光

その他の議案

○総合計画審議会条例の 一部改正

新たな総合計画を策定

するに当たり、さまざま

な分野・世代の方々から

意見を聴けるようにする

ためのものです。

○庁舎等整備基金条例

本市の庁舎等の整備を

円滑に行うために、庁舎

等整備基金を設置するも

のです。

●高機能消防指令センタ ー整備事業

通報から指令までの所

要時間の短縮や、大規模

災害時の対応強化のため

に、消防本部に新しく高

機能消防指令センターを

整備しました。



高機能消防指令センター（消防本部）

●犬山東町線バイパス・ 日野岩地大野線整備事業

新たな都市基盤整備事

業として、市内2カ所で

南北道路の整備を始めま

した。

●教室照明器具改修事業

すべての小中学校にお

いて、教室照明器具の落

下を防止するための工事

を実施しました。

●「本の街かみがは ら」事業の推進

春と秋のブックフェス

ティバルで開催した青空

古本市や絵本ライブ、ト

ークショーなどのほか、

旅する本事業など、21の

ソフト事業を実施しまし

た。

●総合福祉会館改修事業

総合福祉会館の空調設

備の改修や、内装のリニ

ューアル工事を実施しま

した。

●排水路改良事業

大雨による住宅地の浸

水被害や災害を防止する

ため、緊急性や事業効果

が高い各務原町排水路や

金属団地排水路などの改

良工事を実施しました。



ブックフェスティバル（市民公園）

委員会審査



総務常任委員会

平成24年度一般会計決算の認定(所管分)

▼質疑 雨量計を4カ所新設したが、どのように観測データを活用しているのか。

▽答 地域に細かく設置することにより、地域ごとの雨量が分かるようになった。

そして、関係職員に雨



市内5カ所に設置されている雨量計

今期定例会で4つの常任委員会に審査の付託をした各案件について、9月18日から4日間で常任委員会を開催し、審査を行いました。主な質疑内容は次のとおりです。

量情報をメールで送信できる仕組みも整備した。

特に1時間当たり20ミリを超える災害が発生する可能性が高くなるため、消防職員や都市建設部の職員がその地域を優先的に見回り、アンダーパスなどの道路が冠水しやすい箇所を早期に通行止めにするなどの対策がとれるようになった。

▼質疑 災害情報スピーカーの放送が聞き取りにくい地域を対象に、スピーカー設備の新設工事を行ったが、その効果は。

▽答 平成24年度は、災害情報スピーカーの新設を3カ所行っており、これにより災害時の確実な情報伝達が可能になった。

▼質疑 市税滞納者に対して行った差押えの種類と件数は。

▽答 不動産が44件、預金や保険などの債権が619件、車両が1件で合計664件である。

庁舎等整備基金条例

▼質疑 公共施設等整備基金条例とは別に庁舎等整備基金条例を設けるのはなぜか。

▽答 しっかりと経理を分けるためである。

庁舎等整備基金は、市長の公約である庁舎100%耐震化を実現するために、本庁舎、川島振興事務所、鶴沼市民サービスセンターの改修や建て替えに備えた基金である。

民生消防
常任委員会

平成24年度一般会計決算の認定(所管分)

▼質疑 在宅の高齢者や介護者に対する支援とし

て、緊急通報システムの通報装置を107台新設したが、その利用状況はどれくらいか。

▽答 緊急通報システムは、平成24年度までに755台設置している。月平均約90件の利用があるが、緊急車両の必要なケースは10%ほどである。



緊急通報システムとペンダント

▼質疑 学童保育の月額利用料金はいくらか。

▽答 通常、おやつ代を含め、月4000円である。

延長保育を利用する場合、17時以降の30分延長で1800円、1時間延長で2600円が加算される。

▼質疑 家庭児童相談員は嘱託職員が1人だけで

あるが、十分に対応できているか。

▽答 以前は、家庭児童相談員と母子自立支援員の2人体制であったが、平成24年度から母子自立支援員を1人増員し、現在は3人体制である。

これらの相談員が互いに共通理解しながら相談を受けており、さらに児童相談所にも状況を報告している。

相談に関しては、相談員の人数ではなく質が大切であり、今の人数で十分だと考えている。

平成24年度国民健康保険事業特別会計決算の認定

▼質疑 歳入歳出差引額が19億2千万円、基金が2億5千万円で保有資産額は21億7千万円であるが、他市と比較して財政状況はどうか。

▽答 繰越金と基金を合わせた保有資産額は、加入者1人当たりに換算すると約5万3千円となり、県内21市の順位は上から8番目で、ほぼ平均的な位置にいる。

経済教育
常任委員会

平成24年度一般会計決算
の認定(所管分)

▼質疑 航空宇宙科学博物館の委託料が前年度より1千万円ほど増加した理由は。

▽答 博物館のウエルカムゲートの壁画やウエルカムハウスの大型映像システムのリニューアルのほか、屋外に展示してあるYS・11機の再塗装を行ったことが主な要因である。

▼質疑 航空宇宙科学博物館の収入額を増やすた



再塗装を行ったYS・11機

めの取り組みは。

▽答 関西や北陸方面など日帰りができる地域の子ども会の誘客活動に努めるほか、本市にゆかりのある航空機の企画展などを開いている。

より多くの方に入館していただけるように、施設のリニューアルにも取り組んでいる。

▼質疑 通常学級での人づくり講師の取り組み内容とその効果は。

▽答 通常学級の人づくり講師13人のうち1人は外国人の学習支援に当たるため、実質12人が通常学級の人づくり講師であり、小学校で7人、中学校で5人が勤めている。

小学校では算数などの授業で教員の補佐をし、中学校では美術や理科、数学、英語、体育などの教科で正式な教員と同じように授業を行っている。

教員からは、より充実した授業ができるようになったと好評である。

▼質疑 学校給食の野菜の地産地消率は。

▽答 平成24年度の学校給食センターの実績では、12万2419kgのうち、市内産が9・3%、県内産が23・6%である。

建設水道
常任委員会

平成24年度一般会計決算
の認定(所管分)

▼質疑 道路維持補修に関する自治会要望への対応状況は。

▽答 自治会から740件の要望書を頂いたが、すべて現場を確認している。

個別対応も含めて518件に対応しており、処理実績は70%である。

要望書以外にも電話や窓口でも要望を受けており、全体で1131件の要望のうち909件に対応した。

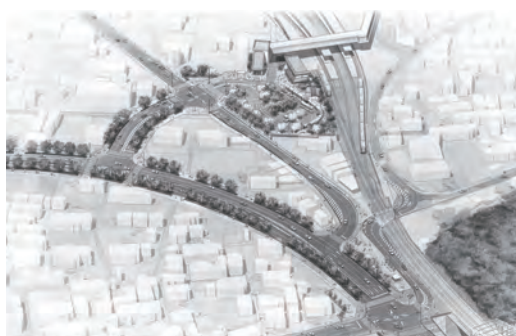
▼質疑 犬山東町線バイパスの用地取得の状況は。

▽答 平成24年6月に事業認可され、測量や補償調査を行い、11月末から用地交渉に入った。

地権者の方に協力をい

ただいて、4カ月間の用地取得で433㎡、建物移転で2軒の契約をいただいた。

土地開発公社の予算で、さらに用地で1054㎡、建物で4軒契約し、合計で建物移転が19軒あるうちの6軒、事業面積で26・8%、用地補償費で21・6%の取得契約ができた。



犬山東町線バイパスの構想図

▼質疑 道路に面した敷地の緑化を支援する民有地接道緑化補助金があるが、その利用件数と市民への周知状況は。

▽答 平成24年度の申請件数は20件である。

引き続き、広報紙やウェブサイトに掲載するほか、パンフレットなどでも周知していきたい。

▼質疑 住宅用太陽光発電システムの設置に218件の補助を行ったが、発電能力はどれくらいか。また、新築と既存の建物の割合は。

▽答 能力の高いもので8・77キロワット、低いもので1・9キロワットであり、平均は4・46キロワットとなっている。

建物の割合は、新築が48件で22・02%、既存が170件で77・98%である。

▼質疑 アルゼンチンアリ対策協議会の構成メンバーは。

▽答 アリの生息地域である鶴沼山崎町、鶴沼東町、鶴沼南町の各自治会から2人ずつと、環境水道部長の計7人で構成している。

また、アリの発見当時から指導いただいている元大垣北高等学校教諭に顧問をお願いしている。

審 議 結 果

(9月定例会)

○平成25年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決・全会一致
○調停の成立	原案可決・全会一致
○議員派遣の件(欧州都市行政視察)	原案可決・賛成多数
○議員派遣の件(市議会だより編集に関する調査)	原案可決・全会一致
○総合計画審議会条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
○固定資産評価審査委員会委員の選任(廣瀬悟道氏)	原案同意・全会一致
○人権擁護委員候補者の推薦(堀久美子氏)	原案同意・全会一致
○平成24年度一般会計決算の認定	原案認定・賛成多数
○平成24年度国民健康保険事業特別会計決算の認定	原案認定・賛成多数
○平成24年度介護保険事業特別会計決算の認定	原案認定・賛成多数
○平成24年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定	原案認定・賛成多数
○平成24年度下水道事業特別会計決算の認定	原案認定・全会一致
○平成24年度水道事業会計決算の認定	原案認定・全会一致
○平成25年度一般会計補正予算(第3号)	原案可決・賛成多数
○平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決・賛成多数
○平成25年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決・全会一致
○平成25年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決・全会一致
○庁舎等整備基金条例	原案可決・賛成多数
○使用料等滞納処分等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○子ども・子育て会議条例	原案可決・全会一致
○国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
○都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例 ..	原案可決・全会一致
○平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	原案可決・全会一致
○市道路線の認定(市道稲939号線)	原案可決・全会一致
○市道路線の認定(市道蘇南124号線)	原案可決・全会一致
○「ふれあいバスを1時間ごとに走らせて」を求める請願	不採択・賛成少数
○地方税財源の充実確保を求める意見書	原案可決・賛成多数
○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」の ための意見書	原案可決・全会一致

委員会調査報告 (他市への視察)

総務常任委員会

〈期間〉5月13日～15日

○兵庫県姫路市

市の魅力を内外にPRするための事業が先進的に行われている姫路市フィルムコミッション事業を視察した。

誘致活動では、制作者への積極的なプロモーション活動が大切なため、各フィルムコミッション主催のフェアなどへの出展とウェブサイトによる情報発信といったPR活動の必要性の説明がなされた。

また、窓口を一本化し、毎回同じ対応ができる体制作りが必要であると感じた。

○岡山県倉敷市

公共施設の更新と維持費用の試算や施設管理全体のマネジメントを視察した。

民間企業経験者を担当

技師として長期修繕計画を作成し、優先順位の判定をしていた。

また事務職でも担当者である以上は、できることは自分の手で管理すべきという方針で実地研修を行っている。

そのほか、愛媛県松山市の防災対策を視察した。

経済教育常任委員会

〈期間〉5月14日～16日

○島根県雲南市

商店街のにぎわいを取り戻すために、軽トラックを店舗に見立てて市内特産品などを販売する市場「うんなんまめなカマー」を平成21年より商店街などで開催している。

道路上で軽トラック市を開催するには、出店者ごとに道路使用許可申請が必要であるが、「しまね版特区制度」の活用により、一くくりで申請できるようになった。

さらに、出店料を2千円に抑え、手続きを簡素化することで、出店しやすい環境を整えた。

この結果、軽トラック



説明を受ける委員（雲南市）

市は12回開催されたが、過去には3時間の開催で4千人以上の来場者でにぎわうまでになった。

この取り組みは、さまざまなイベントで活用できるため、地域のにぎわいをつくり出す一つの手段として参考にしたい。

そのほか、鳥取市の地産地消推進の取り組み、島根県安来市の広域生活バスを視察した。

建設水道常任委員会

〈期間〉5月22日～24日

○宮城県仙台市

仙台市では下水道施設の老朽化が進んでおり、特に高度経済成長期以降に大量に設置した地下水路が、今後耐用年数50年

を迎えるため、大きな課題となっている。

このため、施設の効率的な管理を行えるよう新たな資産管理システムの整備を進め、情報を統合するとともに、地理情報システム（GIS）を更新するなど、平成25年度より運用を開始している。

これにより、今後必要となる長期的な費用予測が可能となるほか、リスク管理や適切な時期に修繕を行うことによる費用の縮減などの効果が期待できる。

本市でも、今後同様の課題が想定されるため、大変参考になった。

そのほか、青森県十和田市のごみ減量の取り組み、岩手県奥州市の蔵を生かした街づくりなどを視察した。

民生消防常任委員会

〈期間〉5月21日～23日

○北海道苫小牧市

国や県に先駆けて「福祉のまちづくり条例」を制定し、先進的な福祉行政を行っている苫小牧市

を視察した。

この条例は、高齢者、障がい者などの社会参加を阻むさまざまな障壁を取り除き、誰もが暮らしやすい福祉のまちづくりを目指すためのものであった。

○北海道小樽市

地区ごとに保育所を子育て支援センターとして解放し、親子の交流の場や子育ての不安解消などに役立てている子育て施策を視察した。

子どもたちが健やかに成長するために、地域社会が連携する仕組みづくりの参考にしたい。

そのほか、恵庭市の地域福祉計画を視察した。



子育て支援センター（小樽市）

市政を問う 一般質問

9月12日、13日の2日間で一般質問を行いました。
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)

池戸一成、横山富士雄、水野盛俊、三和由紀、杉山元則、川嶋一生、
瀬川利生、坂澤博光、大竹大輔、永治明子、津田忠孝、五十川玲子、
黒田昌弘、波多野こうめ

平成24年度の決算状況

不断の行財政改革により実質収支は黒字

▼問 平成24年度の一般会計と各特別会計の決算全体の総括は。

▼答 不断の行財政改革と厳正な事業の執行管理により、一般会計のみならず国民健康保険事業や介護保険事業などのすべての特別会計でも実質収支は黒字となった。

自治体の収入に占める借金返済の割合を示す「実質公債費比率」は、昨年度と同じく2.0%であり、極めて良好な結果であった。

▼問 今後の財政の見通しは。

▼答 急激に進む人口減少・少子高齢化、国の財

政再建に伴う地方財政への影響、老朽化した公共施設の維持修繕、旧川島町との合併による特例措置の終了など、本市の財政を取り巻く環境はこれまで以上に厳しくなると考える。

▼問 公共施設の維持修繕にどれくらいの費用を見込んでいるか。

▼答 平成24年3月に策定した「公共施設等長寿命化計画」では、平成33年度までに約160億円の事業費を見込んでいる。

▼問 決算に基づく今後の財政運営の考え方は。

▼答 歳出削減と歳入増加への取り組みが重要だ

と考えている。

歳出削減のために、既存事業の総点検と最適な情報システムの導入により、業務の効率化を図っていく。

また、歳入増加のために、航空宇宙産業のほか、商店街や中小企業の産業・商業の振興を図る。

さらに、本市の魅力を発信し、移住・交流人口の拡大に努め、税収の確保とふるさと納税の充実強化、歳入歳出改革を進めていく。

▼問 市民に分かりやすく財政状況を伝える取り組みは。

▼答 市の財政状況をできるだけ分かりやすい言葉と図解などを交えて、年2回広報紙に掲載し、ウェブサイトで常時公開している。

また、財政事情をテーマにした出前講座なども行っている。

▼問 次年度構想に市民の声をどのように取り入れているか。

▼答 市政に関するテーマについて広く市民と語り合う「まちづくりミーティング」を10月18日から各地で順次開催していく、今後の施策や計画に取り入れていきたい。

各務原ブランド 事業

▼問 市制50周年を記念して、郷土の英雄である村国男依を題材とした歌舞伎の公演が制作されるが、その理由は。

▼答 市の歴史・文化遺産である地歌舞伎、村国座、男依を活用し、各務原ブランドを発信することを目的に企画・制作したものである。

▼問 男依をブランド化し、発信する考えは。

▼答 男依歌舞伎以外に

も、市制50周年記念事業として、市民主導で男依について調査研究した成果をパネルにして紹介する巡回展を、10月から市内の公共施設で行う予定である。

そのほか、生涯学習講座や出前講座などを通じて、社会的・文化的背景を含めた歴史の啓発を行い、市民へ男依の知名度を高めるとともに、市外への情報発信をしていきたい。

その恋の相手は 誰だろう
この地の勇者 村国男依のこと

男依歌舞伎

紅葉深恋鐘
あきふかまり こいのかねつき

11月3日(日) 村国座

市制施行 50 周年を記念して企画・制作される男依歌舞伎



老朽化が進む市庁舎の耐震対策は

耐震改修基礎調査を待ち判断

▼問 市役所本庁舎の耐震対策の具体的な検討時期は。

▽答 耐震改修基礎調査が終了する平成26年3月以降に、耐震補強改修か建て替えかを検討する。

▼問 なぜ、庁舎等整備基金条例を制定するのか。

▽答 どのような対応をするにしても、多額の費用の発生が見込まれることから、早急に資金の準備に取りかかる必要があるためである。



耐震改修基礎調査中の本庁舎

▼問 庁舎にはどのような機能が重要と考えるか。

▽答 庁舎は、利用者の利便性や快適性、安全性の向上を図ること、職員の働きやすい環境などを念頭において整備することが重要と考えている。

今後の基礎調査の終了を待って、十分に議論を進めていく予定である。

▼問 どのように市民の意見を反映するのか。

▽答 耐震改修基礎調査の結果を踏まえつつ、必要に応じて市民の意向などを反映できるように議論を進めていく。

総合防災訓練

▼問 8月25日に予定していた総合防災訓練を中止した理由は。

▽答 本市の総合防災訓

練は、他市では例のない全市民参加型で、主会場、副会場を合わせ市内全域18カ所において一斉に実施している。

今回は悪天候による不測の事態が起ることが懸念され、やむを得ず訓練の中止を決定した。

▼問 総合防災訓練は地域防災力の強化を図る絶好の機会である。

今回の中止を教訓に、来年に向けての課題は。

▽答 雨天でも訓練を実施できるようにするとともに、参加する市民が活動しやすいように訓練内容や時期の見直しに取り掛かる。

▼問 避難場所としての役割も担う「そらーら」の場所をもっと周知すべきではないか。

▽答 「そらーら」の場所は、以前より分かりづらいたとの声もあるため、道路沿いの避難誘導標識を施設案内板も兼ねた大型の物に変更する。

地域の避難所の所在地については、全戸配布の



そらはふれあいセンターそらーら(蘇原野口町)

防災ハンドブックに掲載して周知を図っているが、今後は各地区における自主防災組織リーダー講習会の機会などでも周知するよう努めていく。

私有地の管理

▼問 私有地の管理に関する主な要望と苦情件数とその対応は。

▽答 要望の主なものは、雑草や樹木の管理に関するもので、平成22年度の苦情件数は226件、平成23年度は234件、平成24年度は217件で大

きな変化はない。

寄せられた要望には、現地を確認し、その内容に関する法律・条例に基づき、土地所有者などに適正な管理に努めていただくよう、現況写真を添付して通知している。

▼問 私有地を適正に管理していただくために、どのように周知をしているか。

▽答 毎年6月の広報紙に、空き地の雑草の刈り取りについての記事を掲載し、所有者などへの呼び掛けを行うなど、意識啓発に努めている。

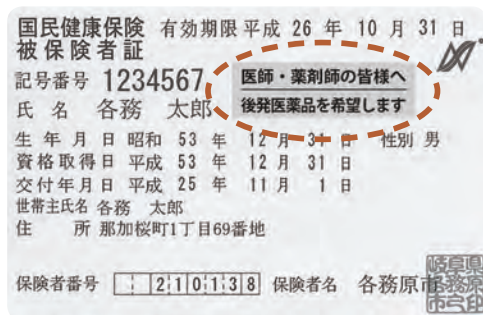
空き地の管理は、所有者の責務であることを強く認識していただくよう、広報紙やウェブサイト、イベントなどの機会を通じてPRしていく。

▼問 猫侵入防止装置の貸出制度を導入しては。

▽答 猫侵入防止装置は、既に6基購入しており、10月より1世帯当たり1回限りで2基まで、期間は2週間以内で、無償で貸し出す予定である。

ジェネリック医薬品希望シール

国保の保険証一斉更新時に配布



ジェネリック医薬品希望シール

▼問 平成23年度から、ジェネリック医薬品（後発医薬品）希望カードを配布しているが、国保の保険証に貼れる希望シールを配布してはどうか。

▼答 希望シールは、11月の保険証の一斉更新後に利用してもらえるように準備を進めている。

ジェネリック医薬品の利用は、患者の自己負担の軽減や医療費の抑制につながるため、今後もこのような取り組みを積極的に進めている。

的に行いたい。

▼問 国保料の引き下げをする考えは。

▼答 平成25年度の国保料は、被保険者の費用負担にも考慮し、繰越金の一部を活用して引き下げを行った。

しかし、国保を取り巻く状況は依然として厳しく、保険料の引き下げは今後も慎重に判断する必要がある。

▼問 市町村間の医療費格差や保険料格差を解消するためには、国保を広域化することは、国民皆保険制度の崩壊につながるのではないか。

▼答 国保の広域化は、全国の市町村国保の半数近くが赤字決算となるなど厳しい状況下で国が実施する制度改革であり、国民皆保険制度の要である国民健康保険制度を維持するため避けて通れない。

いものと認識している。

▼問 うつ病対策の取り組み内容は。

▼答 精神保健福祉士による出張相談を毎月開催しているほか、精神科医などを実施している。

▼問 携帯電話やパソコンを使って心の健康状態を自己診断できる「こころの体温計」を導入してはどうか。

▼答 誰もがどこでも自分の心の健康をチェックでき、相談先を簡単に知ることができるため、うつ病予防に大変有効であると考えており、今後、導入に向けて進めていく。

ガソリン携行缶

▼問 過去にガソリン携行缶の使用による事故はあったのか。

▼答 工事現場で作業中に切断機のエンジン停止に切断機から給油した際に、漏れたガソリン

に引火し、車両の荷台などが燃えた事案を1件把握している。

▼問 京都府福知山市の事故を教訓に、本市はどのような対策を考えているのか。

▼答 消防本部では、消防署や消防団にガソリンの携行や取扱い時の注意事項を徹底するとともに、ウェブサイトに使用上の注意事項を掲載した。

また、イベントの開催時には積極的に現地に赴き、火気を使用する屋台などの指導に努めている。

消防団の活動・役割

▼問 消防団の活動内容はどのようなものか。

▼答 消防団の主な活動は、火災の鎮圧や予防、警戒であるが、大雨時の危険個所の警戒や行方不明者の捜索など多種多様な活動を行っている。

▼問 女性団員はどのような活動をしているのか。



操法を披露する女性団員

▼答 消防出初め式や辞令交付式などの式典の運営補助、消防操法大会や夏季演習などの訓練、住宅用火災警報器の普及啓発などの活動を行っている。

▼問 女性団員の研修や活動内容の拡大の考えは。

▼答 今後は従来の活動に加え、応急・救護に関する研修にも積極的に取り組んでいきたい。

▼問 女性団員を増員する考えは。

▼答 現在の14人から20人まで増員できると考えているため、今後ウェブサイトを広報紙などでPRに努める。

ご当地商品のPR方法は

ふるさと納税の記念品として活用

▼問 本市にはどのようなご当地商品があるか。

▽答 全国菓子大博覧会で内閣総理大臣賞を受賞した和菓子や、市にゆかりのある飛行機がネーミングされた地酒など、市観光協会が認定した31品目の推奨特産品がある。

▼問 ご当地商品をどのようにPRしているか。

▽答 ウェブサイトへの掲載や、ふるさと納税をしていただいた方への記念品として活用している。



新たに認定された推奨特産品

また、県と連携した観光などで市内外に広く積極的にPRし、販売促進に努めている。

▼問 本市にはどのような産業があるのか。

▽答 戦前から飛行場があり、航空宇宙産業が発展してきたため、現在では高い精度、高品質の関連部品を製造する企業が集積している。

▼問 本市の航空宇宙産業をどのようにアピールしているか。

▽答 民間企業とともに展示会への出展などに努めている。

秋には東京ビッグサイトでの東京国際航空宇宙産業展、ポートメッセなごやで行われる次世代ものづくり基盤技術産業展などで高い技術力をPRする予定である。

▼問 ご当地商品を通して、市のアピールをして

いく考えは。

▽答 商工会議所と連携し、ご当地商品の開発相談などを積極的に行うとともに、全国的にPR効果の高いイベント出展への支援などを行い、ご当地商品を通して市のアピールをしていく。

シニアの 知的財産の活用

▼問 シニアの人材登録制度を作っては。

▽答 ハローワークに、個人の持つ資格や希望職種などを登録すると、企業などがその情報を閲覧でき、登録者の紹介を受けられる「リクエスト」というシステムがあり、多くの方が登録している。

シニアの方にも広域的なネットワークを持つこの制度を利用し、能力を活用していただきたい。

▼問 シニアの資格や専門知識などの知的財産を雇用に結びつける場を設けてはどうか。

▽答 65歳以上のシニアに対する求人が限定的であり、資格や専門知識を求める採用は非常に少ない状況である。

意欲ある人たちに社会で活躍していただくため、企業の求人動向を踏まえつつ、多様な就職相談の場を提供できるように調査・研究していく。

自転車の 安全対策

▼問 中学校では自転車通学の安全対策をどのように指導しているのか。

▽答 自転車通学を認める条件として、交通規則や学校の規則を守ることを、自転車の整備点検を行うこととしており、その上で安全走行の仕方やマナーについて指導している。

今後指導をより徹底していく。

▼問 小中学生の自転車事故に関わる傷害保険への加入を促進しては。

▽答 自転車には自動車にある自賠責保険のような強制保険の制度がないため、保険への加入を強制することは難しいが、PTA総会などの機会をとらえて加入を促進していく。



交通安全教室（蘇原第一小学校）

▼問 農業の担い手を育成するために、今後どのように対策していくか。

▽答 農業を取り巻く環境は、高齢化や後継者不足、価格の低迷など厳しい状況である。

担い手の育成・確保には効率的かつ安定的な経営が必要で、引き続き意欲ある農家の支援を実施していく。



こんな街がいいな！

～わたしたちの夢、願い～

頑張れ！会本青年団



須衛町
加藤 佐登美さん

秋祭りの季節です。
この会本でも子ども神輿を繰り出しますが、子どもが少なくなつて大変になってきました。
しかし嬉しいことに、会本青年団が協力を申し出てくれました。昔からあった自営消防団のつながりを「絆をつなぐ」青年団として継続してきた彼らです。
年末には夜警もして、さまざまな場面で協力してくれます。
面倒なことは、なるべくやめようとする風潮の昨今、本当に嬉しい頼もしい限りです。
私も陰ながら彼らの活動を応援していきたいと思います。

地域ぐるみで子育て



蘇原熊田町
今尾 ふき子さん

昨年、初孫が生まれ、孫の育児の役に立ちたいと「子育てヘルパー養成講座」を受講しました。
そこで「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を知り、早速登録しました。赤ちゃんが誕生した地域の家庭を訪問し、安心して育児をするための手伝いをしています。
最近、身内の協力はあっても、近所の協力はほとんどありません。「遠くの親戚より近くの他人」といいます。
「子どもは未来の宝」地域の多くの人の手で、安心して子育てできる環境になってほしいと願っています。

おいしい水の街



那加甥田町
園田 高子さん

変化や進歩もいいけれど、今のままで変わらずにいてほしいものがあります。
それは各務原市のおいしい水道水です。
転勤族の我が家は、いろいろな所の水を飲んできました。本市の水は浄水器を付けなくても蛇口からの水をそのままおいしく飲めます。
そんな各務原の水はとても素晴らしいと思います。
生命の源である生活用水を、安心・安定的に供給してくださっている方々に感謝しています。

市議会を見にきませんか？

平成25年12月定例会の日程(予定)

11月26日	本会議 開会
12月9日～10日	本会議(質疑・代表質問・一般質問)
12月12日～13日	常任委員会
12月18日	本会議 閉会

※日程は議事の都合により変更になる場合があります。
※ウェブサイトで本会議の生中継や過去の録画映像をご覧いただくことができます。

議会素描

▼改選後3回目の議会。そろそろ議会の雰囲気にも慣れ、皆の表情に気持ちの落ち着きを見る。
▼熱弁を振るう新人議員、質問席の水をいつ飲むか。「今でしょ。」と言いつつも飲む勇気なし。
▼じゃええ。質問の前には床屋に行けばよかった。後日、録画中継を見て一人悔やむ。
▼思わず「楽しい子育て」を「子づくり」と言い間違



違えた。議場の緊張が和らいだ瞬間だった。
▼クールビズで臨んだ今議会。暑いやら、寒いやらと注文多し。体感温度も千差万別。
▼表紙のラジオ体操の写真は季節感がないって？でも多くの人に参加していただいたので、全会一致で採用決定。
市議会だより編集委員会
委員長 池戸一成
副委員長 瀬川利生
委員 五十川玲子
津田忠孝
水野盛俊
坂澤博光